

51機関へ橋渡し 産学公連携相談窓口

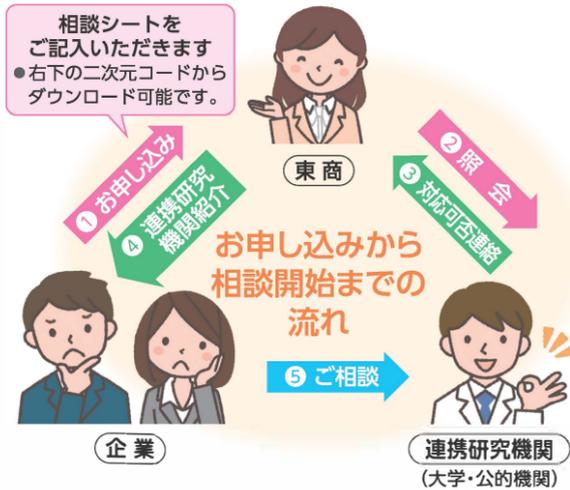
相談・照会
無料

小さな企業でも始められるオープンイノベーション

東商では、大学や公的機関の持つ研究能力や知見、相談機能を企業が幅広く活用できるよう、51の連携研究機関への橋渡しをサポートする「産学公連携相談窓口事業」を実施しています。相談・照会は無料！ぜひご活用ください。

製品・サービス・システムを

「開発・改良したい」「機能や性能を評価したい」
「企画、マーケティング、デザインの知見を活用したい」など
様々なご相談を受け付けています。



産学公連携の特長

- 1 51の連携研究機関に一度に照会できる！
- 2 原則2～3週間以内に対応可否が分かる！
- 3 助成金や融資などの経営支援も！

51の連携研究機関(大学・公的機関) ※50音順

2022年6月1日現在

青山学院大学	上智大学	東京国際工科専門職大学	日本工学院専門学校
宇都宮大学	第一工科大学	東京電機大学	日本工学院八王子専門学校
お茶の水女子大学	拓殖大学	東京都市大学	日本大学
神奈川工科大学	千葉大学	東京都立	日本医科大学
関西大学	千葉工業大学	産業技術研究センター	日本工業大学
近畿大学	中央大学	東京都立	日本獣医生命科学大学
慶應義塾大学	帝京大学	産業技術大学院大学	文化学園大学
工学院大学	電気通信大学	東京都立大学	法政大学
駒澤大学	電子学園	東京理科大学	武蔵大学
産業技術総合研究所	東海大学	東洋大学	明治大学
産業能率大学	東京海洋大学	東洋美術学校	明星大学
滋賀大学	東京工科大学	鳥取大学	立正大学
芝浦工業大学	東京工業大学	新潟大学	立命館大学
城西大学			

※連携研究機関と共同研究などに進展した場合は、費用が発生します。

連携支援機関(8区・21金融機関)

2022年6月1日現在

台東区	北区	港区	墨田区	※助成金や補助金を活用できる区もあるので、詳細は各区のウェブサイトをご参照ください。
江東区	荒川区	千代田区	杉並区	
(金融機関) ※50音順	きらぼし銀行	城南信用金庫	世田谷信用金庫	東京信用金庫
朝日信用金庫	興産信用金庫	城北信用金庫	大東京信用組合	東京東信用金庫
足立成和信用金庫	江東信用組合	昭和信用金庫	東栄信用金庫	中ノ郷信用組合
東信用組合	小松川信用金庫	西武信用金庫	東京シティ信用金庫	日本政策金融公庫
亀有信用金庫	商工組合中央金庫			

※上記機関からの紹介を通じて相談することもできます。

利用企業×大学の連携事例

芝田技研(港区) × 東京電機大学

「データ実測・製品改良に成果」 社長 芝 吉治郎氏

■テストフィールドを求めて

当社は風量測定装置の開発・製造など、風量計測に特化した事業を展開しています。製品の有用性を確認し、新たな市場を開拓するためにも、実際に風量測定ができるテストフィールドの開拓が課題でした。取引金融機関である大東京信用組合に相談したところ、東商の産学公連携相談窓口を紹介してもらって問い合わせ、東京電機大学との連携がスタートしました。

■学生からの意見も取り入れる

鳥海先生の紹介を通じて、オフィスの執務室や高速道路のサービスエリアのトイレで自社の測定装置を使用し、換気量の実測調査を実施。製品のブラッシュアップや市場開拓に役立つ貴重なデータが得られました。

また、装置を使ってもらった研究室

の学生に、使い勝手や見た目、重さなど率直な使用感をヒアリング。「きちんと測定できているか見えた方が良い」という声を受けてフードを透明にするなど、製品改良にもつながりました。現在も鳥海先生とは様々なテーマで共同研究を進めており、非常に良い関係を構築できています。

■中小企業こそ相談窓口の活用を

人数に限られる中小企業こそ、大学と連携することで、実地調査やマーケティングが進むなど大いにメリットがあります。まずは一度相談してみることをおすすめします。



トイレの換気量を測定する様子

「フィールド調査により製品開発を促進」

理工学部理工学科 建築・都市環境学系 教授 鳥海 吉弘氏

■精度の高い測定装置に関心

当研究室は、建築環境・建築設備に関する研究を行っています。現在、新型コロナウイルス対策として換気量の確保が重要であり、設計上の換気量が実際に保たれているか確認することが必要です。一方で、従来の風量測定装置は大きすぎて測定場所を選んだり、持ち運びできるサイズでは精度が低いなどの課題が。そういった中で産学連携の相談を受け、同社が製造する高精度の風量測定装置に興味を持ち、共同研究を引き受けました。

■実測によるフィードバックが重要

まず、共同研究を一緒に行っていた

東京理科大学の倉淵隆先生の研究室で測定装置の精度を確認。その後の実態調査で、トイレの換気において全体的に設計換気量を下回る結果が見られ、メンテナンスやダクト施工に問題があることが明らかとなりました。

また、研究に携わった学生にとっても、同社をはじめとする社会人の方々と交流し、設計図面や実際の建築設備に触れることができるため、とても良い経験になっていると思います。

■企業・研究機関双方にメリット

中小企業は技術力もあり、小回りも利きます。そこに研究機関からの異なった視点を加えることで、新たな発見にもつながります。アイデアの具現化や製品改良を進める上で、相談窓口を上手く活用していただきたいと思います。

※産学公連携のポイントについて、企画3面のコラムでもご紹介しています。

お問い合わせ

挑みつづける、変わらぬ意志で。
東京商工会議所 中小企業部
Tel.3283-7754 | sangaku@tokyo-cci.or.jp

詳しくはこちら



【東商新聞2022年6月20日号より】